

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 神奈川県園芸種苗対策協議会
要望問題名 コカブトンネル栽培で使用する「ベタロン」代替資材の選定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 茅ヶ崎市中島、柳島などでは温暖な気候と根菜に適した砂壤土に恵まれ、早春に良質なコカブが生産されています。「ベタロン」は保温性と通気性を備えた被覆資材で1985年ころより穴あきフィルムに代わって導入されました。しかし、新たに購入すると高額になるため、同様な効果を示し、より低価格な資材が求められています。そこで、「ベタロン」代替資材を選定していただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>PVA 割繊維不織布には、以前、「ベルツーク」や「タフベル」といった商品がありましたが、現在、農業用に利用されている資材は、「ダイオベタロン」のみとなっています。耐候性、耐久性、保温性に優れるだけでなく、PVA の特性である吸湿性を有することから、白さび病軽減にも有効な資材であると考えられます。現時点では、「ダイオベタロン」と同等の効果があり、かつ低価格という代替資材はありません。</p> <p>そのため、PVA を素材とした「PVA フラットヤーン」に関する研究（五十嵐，2009）や厚みのある不織布「アイホッカ#40」を使った研究成果（野口，2012）なども参考のうえ、今後、同様の資材の開発・販売に係る農業資材メーカー等からの情報収集とその提供に努めていきます。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			